学校番号	3010

令和8年度　　工業　　科

教科	工業	科目	インテリアデザイン実習	単位数	3 単位	年次	2 年次
使用教科書	自主編成教材						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

工業のインテリアデザイン分野に関わるものづくりを中心に、インテリアエレメントの分類（家具、建具、照明器具、窓回り部品、テキスタイル製品、壁装材料、工芸品）を取り上げます。木材やガラス、テキスタイル等の素材を用い、制作を通して基本的な技術を総合的に関連付けて理解し実際のものづくりの現場で活用することができる技術の基礎力・応用力を身に付けるように学習します。また建築物及びインテリアを構成する材料に関する基本的な性質や加工技術への知識を身に付け，建築生産や生産・施工の基礎を習得します。また安全・衛生に留意しより良い製品の企画・設計を行う能力と態度を身に付けます。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・実際の作業に即した実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、工業のインテリアデザイン分野に関する知識と技術を総合的に習得する。
【思考力、判断力、表現力等】
・ものづくりを安全で安心な工業製品を提供する視点で捉える。
【学びに向かう力、人間性等】
・作品作りを通して主体的に取り組む姿勢を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a：知識・技術	b：思考・判断・表現	c：主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・インテリアエレメントに関する材料の名称やその性質及び加工法を理解している。 ・材料や加工方法を住生活や工業生産と関連付け，様々な状況に対応できる技術を身に付けている。 ・インテリアエレメントに関する材料の名称やその性質及び加工法が理解できている。	・材料の性質が加工に及ぼす影響や適切な加工法を考察し的確に説明することができる。 ・構造と機能の視点で加工法について着目しインテリアエレメントに関する課題を考察できる。 ・材料の性質が加工に及ぼす影響や，適切な加工法を考察し，的確に説明することができる。	・インテリアエレメントに関する材料の性質や加工について，主体的に学ぶ態度を身に付けている。 ・協働的な学びを通じて，自身の学習を見直し，改善を図ろうとしている。 インテリアエレメントに関する材料の性質や加工について，主体的に学ぶ態度を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	素材の加工技術②とデザイン	・インテリアエレメントについて理解を深める。 ・材質を知る ・小家具のデザイン考察 ・アイデアスケッチ ・木取り図作成 ・模型制作 ・工具の扱い方と工程 ・木材の加工法を学ぶ	a：制作過程を理解し、工程計画を立てている。必要な加工技術を適切に使用し制作している。 b：木材加工技術に関する工程を通して、適切な思考・判断を行い制作している。 c：主体的かつ協働的に取り組むことができる。	学習状況の観察 実習ノートの記述 作品レポート 発表 自己評価 相互評価等	学習状況の観察 実習ノートの記述 作品レポート 発表 自己評価 相互評価等	学習状況の観察 実習ノートの記述 作品レポート 発表 自己評価 相互評価等
2	素材の加工技術①とデザイン	・作品制作 ・加工法について ・切削加工 ・研磨加工 ・組立加工 ・仕上げ加工 ・三面図 ・加工と構造について	a：必要な加工技術を適切に使用し制作している。制作過程を理解し、工程計画を立てている。 b：木材加工技術に関する工程を通して、適切な思考・判断を行い制作している。 c：主体的かつ協働的に取り組むことができる。	学習状況の観察 実習ノートの記述 作品レポート 発表 自己評価 相互評価等	学習状況の観察 実習ノートの記述 作品レポート 発表 自己評価 相互評価等	学習状況の観察 実習ノートの記述 作品レポート 発表 自己評価 相互評価等
3	素材の加工技術③とデザイン	・仕上げ加工 ・三面図 ・プレゼンテーション ・発表 ・生産技術についての学び ・生産管理について ・構造や加工法についてのふりかえり	a：必要な加工技術を適切に使用し制作している。制作過程を理解している。 b：三面図やプレゼンテーションでは作品のコンセプトを明確に表現することができている。 c：主体的かつ協働的に取り組むことができる。	学習状況の観察 実習ノートの記述 作品レポート 発表 自己評価 相互評価等	学習状況の観察 実習ノートの記述 作品レポート 発表 自己評価 相互評価等	学習状況の観察 実習ノートの記述 作品レポート 発表 自己評価 相互評価等

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度